

## ソーシャル・キャピタル政策展開研究会の趣旨・進め方について

## 【研究会の趣旨】

近年の情報化や少子・高齢化の進展などを背景として、国民誰もがお互いの立場を超えて地域社会において助け合いやつきあいを積極的に持つことが難しくなりつつある。住民が生きがいを持って安心して充実した日常生活を過ごしていくためには、地域社会における人と人とのつながりの再生・強化、すなわちソーシャル・キャピタルの向上と多様な政策課題の解決・改善を両輪で進めていくことが必要である。

そのため本研究会では、地域経済のもとでソーシャル・キャピタルはどのような役割を果たし得るのか、地域社会形成のために企業が出来ることは何か、ソーシャル・キャピタル向上の環境づくりを進めるための制度や政策などのテーマにつき、分析・検討する。

## 【研究会の進め方（案）】

研究会は、①アドバイザーグループ委員、②実務家グループ委員の構造で進めるものとし、全4回の開催を想定している。研究会の流れは、以下のとおりである。

## &lt;研究会の流れ&gt;

## ●第1回ソーシャル・キャピタル政策展開研究会（本日）

※アドバイザーグループ委員のみ・非公開

- (1) 事務局による論点提示
- (2) 論点・テーマに関する意見交換

## ●第2回ソーシャル・キャピタル政策展開研究会（2007年10～11月頃）

※実務家グループ委員からの発表を中心とした研究会・公開

※実務家グループ委員、テーマ内容は本日ご議論いただきたい事項になります。

- (1) 海外のソーシャル・キャピタル政策展開について（仮）
- (2) 市民活動とソーシャル・キャピタルについて（仮）

## ●第3回ソーシャル・キャピタル政策展開研究会（2007年11～12月頃）

※実務家グループ委員からの発表を中心とした研究会・公開

※実務家グループ委員、テーマ内容は本日ご議論いただきたい事項になります。

- (1) わが国のソーシャル・キャピタル政策展開について（仮）
- (2) ソーシャル・キャピタル向上の環境づくりについて（仮）

●第4回ソーシャル・キャピタル政策展開研究会（2008年1月頃）

※アドバイザーグループ委員のみ・非公開

- (1) 全3回の研究会の総括・まとめ
- (2) 今後の成果の活用についての意見交換

【研究会での主な論点】

※以下は事務局で想定したものであり、あくまでご参考です。実際には、他の多くの論点が出てくるものと考えております。

(地域経済の諸問題)

- ・ 国内の地域経済はどのような諸問題を抱えているのか？最も大きな問題は何か？
- ・ 豊かなソーシャル・キャピタルは地域経済の活性にどのような機能を果たしてきたか？
- ・ ソーシャル・キャピタルの低下や向上は、地域経済にどのような影響をもたらすのか、ソーシャル・キャピタルと関係の深い要素は何か？

(地方分権のあり方)

- ・ ソーシャル・キャピタル向上のために国と地方はどのような役割分担をすべきか？
- ・ 豊かなソーシャル・キャピタルを育む地域社会の受け皿は、どのようなメカニズムを持つべきか？

(地域社会の中での企業の役割)

- ・ 家族や地域社会に企業人はどのようにコミットしているか、コミットの程度（時間や度合い）はどの程度か？
- ・ 地域社会の中での企業の役割はどのように変化してきたか、企業と企業人の関係はどのように変化してきたか？
- ・ 企業が地域社会の中で果たすべき本質的な役割は何か？

(海外の実情・対応)

- ・ 海外ではソーシャル・キャピタルの低下に、どのような対応策が講じられてきたか？
- ・ こうした対応策は地域ごとに、どのような特徴・内容を有しているか？
- ・ そうした対応策における公共、企業、住民の役割分担はどうなっているか？

(ソーシャル・キャピタル向上の環境づくり)

- ・ わが国は地域社会において、ソーシャル・キャピタルを向上させる制度やしぐみをどのように整備すれば良いか？
- ・ こうした中で地域間格差を解消し、地域社会における人と人とのつながりの再生・強化、すなわちソーシャル・キャピタルの向上と多様な政策課題の解決・改善を両輪で進めていくために、わが国はどのような政策・施策を講じるべきか？

以上